

令和5年度都立多摩科学技術高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
数学	数学的な見方・考え方を使って問題解決を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○習熟度授業において、到達目標の設定と共通理解および調整を図る。 ○数学的活動を行う課題の設定、単元別小テストの活用。 	○授業や受験勉強と違った視点から数学に触れることで、数学オリンピックへの参加を目指す。
理科	科学技術者として必要な技能・思考力・判断力・表現力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○実験結果を整理し、表現する場を設ける。 ○実験考察問題を通じて、グラフや表を読み取る機会を設ける。 ○実験考察問題を通じて、仮説を立案、検証する方法を考える場を設ける。 ○探究の過程を踏まえた実験を多く準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なデータを分析し、課題を発見する授業を作成し、実践する。 ○一人一台端末を活用し、情報の共有をする場を設ける。 ○科学オリンピックへの参加の場を設ける。
英語	プレゼンテーション力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○論理表現ⅠおよびⅡにおいてレッスンのトピックに基づくプレゼンテーション、ディスカッション、ディベートを年10回行う。 ○英コⅠ、Ⅱにおいて各レッスンのリテリングを課し、英語による情報整理と提示のトレーニングを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○4月～5月にトルコの姉妹校とオンライン交流を実施する。 ○2年夏季あるいは冬季休業に選抜生徒による海外英語研究交流を実施する。 ○2年3学期までに、生徒全員が各自の研究内容を英語でプレゼンテーションする。
科学技術	課題発見と解決能力を充実させ、プレゼンテーション能力と質疑応答力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○課題研究発表会、卒業研究発表会での全員発表を行う。 ○実験実習データのデジタル化を図る。 ○デジタル化データの共有を行う。 (グループ、領域内、指導教員、アドバイザー、他校の共同研究者) ○アドバイザーの充実を図る。 (大学、企業、OB・OG) ○課題解決学習の充実を図る。 (シャトルウインドカーコンテスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ○発表の機会の充実させる。 2年生全員が外部発表に参加する。(多摩科技オンラインシンポジウム、SSH合同発表会) 3年生 全領域合同ポスター発表会、領域代表者発表会 (全生徒、全教員の参加で1、2年生の質問力、3年生の質問応答力の向上) ○シミュレーションソフトCOMSOLを活用する。